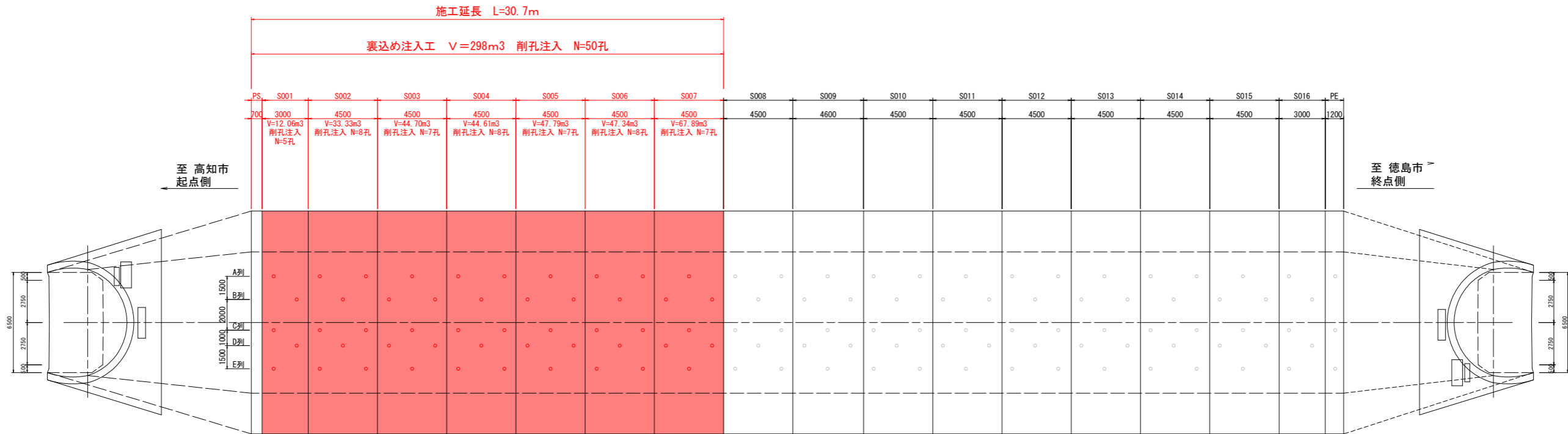


# 対策工展開図 S=1:150

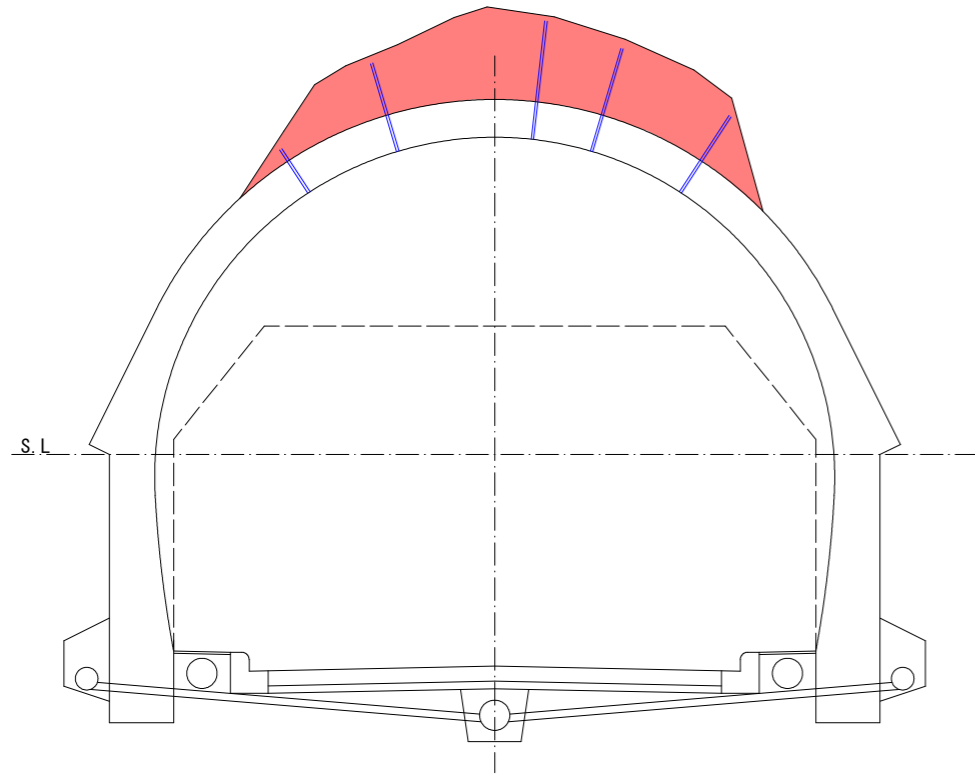


## 実施設計図面

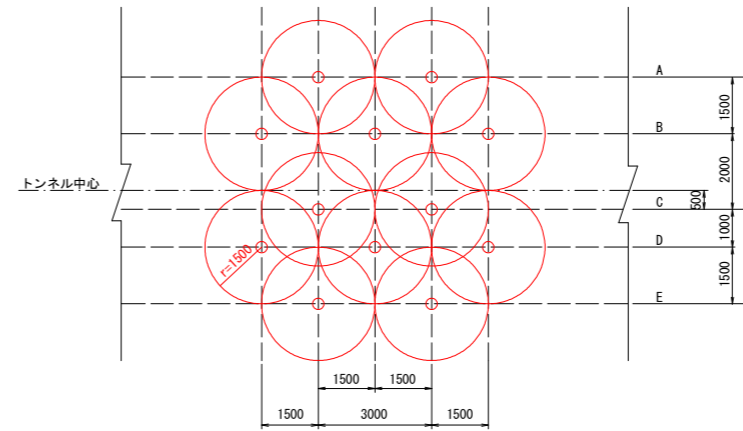
工事名	R2那土 国道195号(大久保トンネル) 那賀・大久保 トンネル修繕工事		
路線名等	一般国道195号		
工事箇所	那賀郡那賀町大久保		
図面名	対策工展開図		
縮尺	S=1:150	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# 対策工詳細図(参考図)

覆工背面空洞対策  
裏込め注入工  
標準断面図 S=1:50



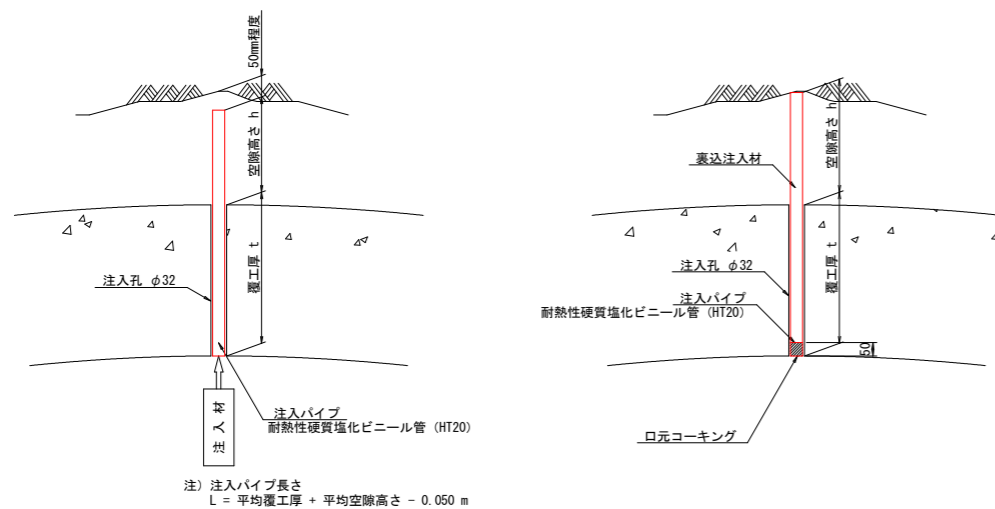
覆工背面空洞対策  
裏込め注入工  
注入孔配置図 S=1:100



覆工背面空洞対策  
裏込め注入工  
注入孔詳細図 S=1:10

(注入時)

(口元コーキング後)

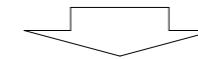


注) 注入パイプ長さ  
L = 平均覆工厚 + 平均空隙高さ - 0.050 m

## 施工フロー

### 1. 炭素繊維シート接着 (1方向2層)

炭素繊維シート接着工 (2層) は、トンネル覆工不足 (t=20cm以下) 箇所における補強対策であるため、注入裏込め注入工前に施工すること。



### 2. 裏込め注入工

①削孔	覆工コンクリートをレッグドリル等で削孔 (φ32mm) する。
②検尺	削孔した注入孔からスケール等を用いて覆工厚、空隙量の検尺を行う。
③注入管設置	削孔した箇所に注入管を挿入しコーキング作業を行って注入管をセットする。
④注入ホースの取り付け	注入ホースを固定する。
⑤注入開始	注入圧力を確認しながら注入を開始する。
⑥注入	・注入圧力、漏水、構造物の変状監視を継続する。 ・適正な吐出物を維持する。
⑦注入終了	注入圧力、注入量の確認を行って注入を終了する。
⑧注入ホースの取り外し	圧抜き (飛散に注意) 後、ホースを外す。
⑨注入箇所の移動	注入ホースの移動、または注入機材の移動により別孔へ移る。
⑩注入管の処置	注入管や注入材料等が得未落下しないよう処置を講ずる。また覆工表面のシール材等の除去を行う。

### 実施設計図面

工事名	R2那土 国道195号 (大久保トンネル)
路線名等	那賀・大久保 トンネル修繕工事
工事箇所	一般国道195号
図面名	那賀郡那賀町大久保
縮尺	対策工詳細図(参考図)
会社名	図示 図面番号 2 / 2
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>